

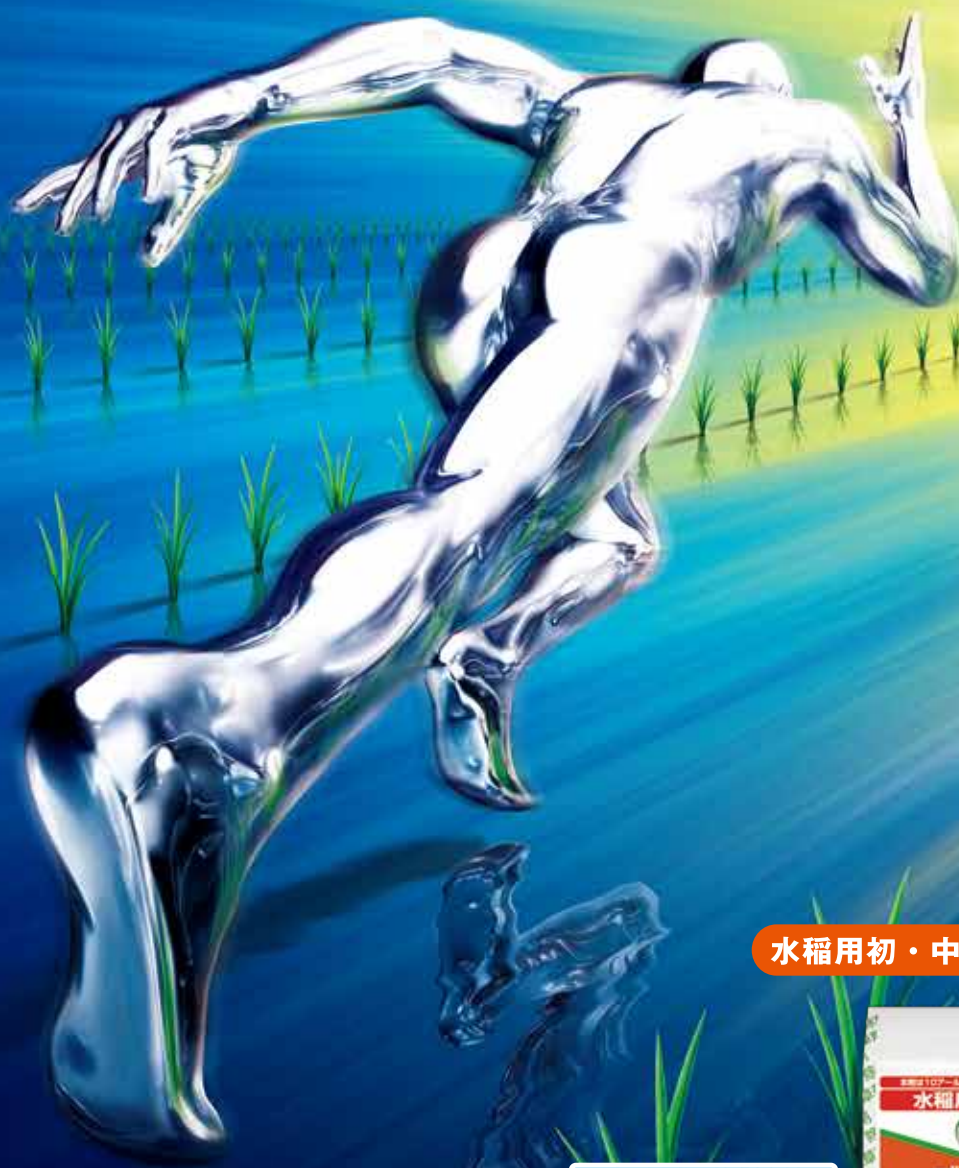
# 雑草防除は、 スタートで 決まる。

稲発酵粗飼料(イネWCS)に  
使用可能



## ゴール®

1キロ粒剤



水稲用初・中期一発除草剤



ノビエ3葉期まで可能



®はバイエルグループの登録商標

# ゴール<sup>®</sup> 1キロ粒剤

登録番号：第22958号

●成分：ピリミスルファン ……0.50%  
フェントラザミド ……3.0%

●毒性：普通物（「毒物および劇物取締法」にもとづく毒物・劇物に該当しないものを指している通称）



## ゴール1キロ粒剤の特長

### ●2成分で高い除草効果

ノビエをはじめとした一年生雑草から、ホタルイ、ウリカワ、ミズガヤツリ、ヘラオモダカ、ヒルムシロなどの多年生雑草に対し高い効果を示します。さらに、アオミドロ、藻類による表層剥離に対しても発生を抑えます。

また、新規成分ピリミスルファンとフェントラザミドの2種混合剤なので、減農薬栽培にも適しています。

### ●抵抗性雑草にも有効

近年問題となっているスルホニルウレア抵抗性雑草（ホタルイ、アゼナ類、コナギ等）に対しても、新規成分ピリミスルファンが優れた活性を示します。また、アゼナ類、コナギに対しては、フェントラザミドも有効なので、より安定した効果が期待出来ます。

### ●難防除雑草、特殊雑草にも有効

本剤は難防除雑草（セリ、オモダカ、クログワイ、シズイ、コウキヤガラ等）にも有効です。

### ●散布適期が幅広く、田植同時処理も可能

田植同時～ノビエ3葉期まで幅広く使用できます。

### ●水稲に対する安全性が高い

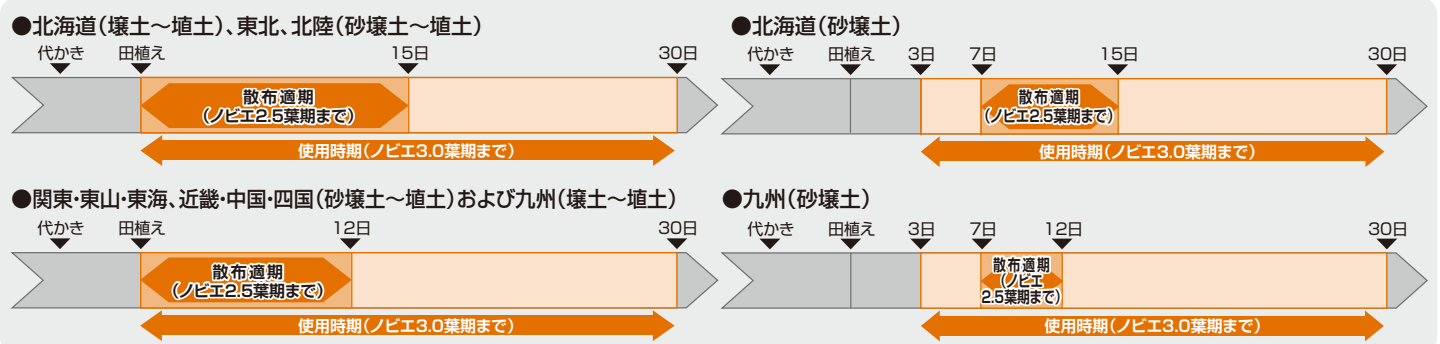
水稲に対する選択性が高く、通常の圃場条件下では安心して使用できます。

## 適用雑草と使用方法（2016年12月現在）

作物名	適用雑草名	使用時期	10アール当たり使用量	本剤の使用回数	使用方法
移植水稲	水田一年生雑草 及び マツバイ ホタルイ ウリカワ ミズガヤツリ ヘラオモダカ ヒルムシロ セリ オモダカ クログワイ シズイ コウキヤガラ アオミドロ・藻類による表層はく離	移植直後～ ノビエ3葉期ただし、 移植後30日まで	1kg/10a	1回	温水散布 または無人ヘリコプター による散布
		移植時			田植同時 散布機で施用

ピリミスルファンを含む農薬の総使用回数 2回以内	フェントラザミドを含む農薬の総使用回数 1回
-----------------------------	---------------------------

## ゴール1キロ粒剤の散布適期



## 使用上の注意事項

- 使用量に合わせ秤量し、使い切ってください。
- 本剤は雑草の発生前から生育初期に有効なので、ノビエの3葉期までに、時期を失しないように散布して下さい。なお、多年生雑草は生育段階によって効果にふれが出るので、必ず適期に散布して下さい。ホタルイ、ミズガヤツリ、ヘラオモダカは3葉期まで、ウリカワは2葉期まで、オモダカ、クログワイ、コウキヤガラは発生始期まで、シズイは草丈3cmまで、ヒルムシロは発生期まで、セリは再生始期まで、アオミドロ・藻類による表層はく離は発生前が本剤の散布適期です。
- オモダカ、クログワイ、コウキヤガラ、シズイは発生期間が長く、遅い発生ものまでは十分な効果を示しませんので、必要に応じて有効な後処理剤と組み合わせて使用して下さい。
- 苗の植付けが均一となるように、代かきおよび植付作業は正しいにおこなってください。未熟有機物を施用した場合は、特に正しいにおこなってください。
- 散布の際は、水の出入りを止めて湛水状態のまま田面に均一に散布し、散布後3～4日間は通常の湛水状態(水深3～5cm)を保ち、散布後7日間は落水、かけ流しはしないで下さい。また、入水は静かにおこなってください。
- 以下のような条件下では薬害が発生するおそれがありますので使用をさけて下さい。
  - ①砂質土壌の水田および漏水田(減水深が2cm/日以上)
  - ②軟弱苗を移植した水田
  - ③極端な浅植えの水田および浮き苗の多い水田
- 梅雨時期等、散布後に多量の降雨が予想される場合は、除草効果が低下するおそれがあるので使用をさけて下さい。
- 散布後の数日間に著しい高温が続く場合、初期生育が抑制されることがありますが、一過性のもので次第に回復し、その後の生育に対する影響は認められていません。
- 無人ヘリコプターで散布する際は以下に注意して下さい。
  - 散布は使用機種の使用基準に従って実施して下さい。
  - 専用の粒剤散布装置によって湛水散布して下さい。
  - 事前に薬剤の物理性に合せて粒剤散布装置のメタリング開度を調整して下さい。
  - 散布薬剤の飛散によって他の植物に影響を与えないよう散布区域の選定に注意し、当該水田周辺部への飛散防止のため散布装置のインペラの回転数を調整し、圃場の端から5m以上離して圃場内に散布して下さい。
  - 水源池、飲料水などに飛散、流入しないように十分注意して下さい。
- 本剤を散布した水田の田面水を他の作物の灌水に使用しないで下さい。
- 本剤はその殺草特性から、いくさ、れんこん、せり、くわいなどの生育を阻害するおそれがあるので、これらの作物の生育期に隣接田で使用の場合は十分に注意して下さい。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意するほか、別途提供されている技術情報も参考にして使用して下さい。特に初めて使用する場合や異常気象の場合には、病害虫防除等関係機関の指導を受けることが望ましいです。

●使用前にはラベルをよく読んで下さい。 ●ラベルの記載以外には使用しないで下さい。 ●本剤は小児の手の届く所には置かないで下さい。

バイエル クロップサイエンス株式会社

東京都千代田区丸の内1-6-5 〒100-8262 www.bayeropscience.co.jp

お客様相談室 ☎0120-575-078 9:00～12:00, 13:00～17:00  
土・日・祝日を除く

第4版 (F-3019 16.12.JWT)